

桜紀行～会津若松河東工業団地周辺のお花見スポットを紹介します。

会津若松河東工業団地のある会津若松市には、春を彩る桜の名所がたくさんあります。工業団地内も、見応え十分なお花見スポットなんですよ。

会津若松河東工業団地

今回はGWの会津若松市内を巡ってみました。
※会津若松市の桜は例年4月中旬～下旬が見頃になっています。
(4/26撮影)



鶴ヶ城



会津若松市を代表する名城・鶴ヶ城。「全国さくらの名所百選の地」にも選ばれるの桜の名所です。

東京ドーム約6個分の広さを誇る鶴ヶ城には、ソメイヨシノを中心に約1,000本の桜が春の訪れを謳歌するごとく咲き誇ります。

この日は汗ばむほどの陽気。GWの前半と

もなまって多くの観光客で賑わっていました。

(4/28撮影)



石部桜

会津五桜と呼ばれる由緒ある古木のひとつ。飯盛山北側の田んぼの中に立っています。このあたりには中世会津の領主葦名氏の重臣、石部治部大輔の屋敷跡でその庭にあった桜と伝えられています。

この日は曇り空ではありましたが、桜は満開。見物客が途切れなく訪れていました。

(4/26撮影)



太夫桜

飯盛山参堂、白虎隊記念館の北側にあります。江戸初期、若松城下の掘江町に「いつき太夫」と云う名妓がいましたが、花見のおり、この辺りで兇徒のために命を落としました。その霊を弔うために、弟の南秀と云う法師により植えられたと言います。石部桜と共に会津の二大老樹の一つです。

(4/26撮影)



鍋沼

会津若松河東工業団地より、国道49号を猪苗代方面に向かったゴルフ場「会津磐梯カントリークラブ」の奥にあります。発電所の調整池としての役目を持ち、堤に沿って咲く桜の花が見事です。沼の南側からは磐梯山も臨むことが出来、河東地区穴場のお花見スポットです。

(5/1撮影)



東山ダム

会津若松市の温泉郷、東山温泉の上流に位置するダム。ダムの周辺は車で一周できるようになっており、各所に植えられた桜が見ごろになっていました。

ドライブコースにもぴったりの隠れたお花見スポットです。

(5/1撮影)



このほかにも、紹介しきれなかったお花見スポットがたくさんあります。四季折々の美しさが楽しめる会津ですが、この桜の時期が特に素晴らしいと感じます。